

# 事業の概況

## 経営環境と業績

### ●金融経済環境

当連結会計年度のわが国経済は、一部では感染症対策等による負の影響が残るものの、全体としては社会経済活動の正常化に伴って緩やかな回復基調をたどりました。この間、企業部門では、海外経済の減速や供給制約等を背景に生産活動は弱めの動きとなりました。一方、個人消費は、円安や物価高の影響が懸念される一方で、行動制限の緩和とともにサービス関連消費が伸長するなど、全体としては底堅く推移しました。期末にかけては、人手不足の深刻化とともに賃上げ気運が高まる中、世界的なインフレと金融政策の動向に注目が集まるとともに米国銀行の経営破綻の影響波及が懸念されるなど、景気の下振れリスクへの警戒感が増す中で期を終えることとなりました。

### ●営業の経過及び成果

当行グループは、第7次中期経営計画「Phase Change 2020」（2020年4月～2023年3月）の最終年度の総仕上げとして、サステナビリティ経営をはじめ経営基盤の確立、諸施策の実行に取り組んだ結果、当連結会計年度の業績は次のとおりとなりました。

#### （連結）

##### （主要勘定）

預金及び譲渡性預金は、個人預金を中心に、前年度末比1,178億円増加の9兆741億円となり、9兆円の大台を突破しました。

貸出金は、法人向け貸出を中心に、前年度末比1,579億円増加の6兆2,980億円となりました。

有価証券は、市場動向を注視しつつ、適切な運用に努めました結果、前年度末比970億円減少の2兆9,409億円、時価会計に伴う評価差額（含み益）は、前年度末比1,604億円減少の7,211億円となっております。

##### （経営成績）

資金運用収益については、外貨金利の上昇から貸出金利息を中心に、前年度比41億43百万円増加の860億16百万円となったほか、役務取引等収益は、コンサルティングによる手数料を中心に、前年度比10億74百万円増加の215億57百万円となりました。

一方で、資金調達費用につきましても、預金利息を中心に、前年度比45億75百万円増加の74億円となりました。

これらに加え、貸倒引当金繰入額が、前年度比85億99百万円減少したことから、連結経常利益については、前年度比90億1百万円増加の381億77百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度比65億92百万円増加の272億13百万円となりました。

#### （キャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、借入金やコールマネー等の減少、また、コールローン等の増加により、1兆4,141億円のマイナス（前年度は397億円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得等により、650億円のマイナス（前年度は667億円のプラス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得により、144億円のマイナス（前年度は74億円のマイナス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前年度末比1兆4,935億円減少し、1兆1,673億円となりました。

#### （単体）

預金・譲渡性預金の当期末残高については、前年度末比1,168億円増加して、9兆1,046億円となりました。

貸出金は、前年度末比1,569億円増加して、当期末残高は6兆3,059億円となりました。

有価証券は、前年度末比979億円減少して、当期末残高は2兆9,442億円となりました。なお、このうち時価会計に伴う評価差額（含み益）は、前年度末比1,607億円減少して、当期末現在で7,204億円となっております。

次に損益状況については、経常利益は前年度比94億59百万円増加して355億44百万円となり、当期純利益は前年度比69億20百万円増加して256億39百万円となりました。

## 主要な経営指標の推移

### ●連結経営指標

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
連結経常収益	133,539	113,823	108,156	127,422	124,333
連結経常利益	45,184	29,232	23,765	29,176	38,177
親会社株主に帰属する当期純利益	31,681	20,383	16,860	20,621	27,213
連結包括利益	△76,981	△8,475	337,633	△70,512	△83,596
連結純資産額	850,934	834,987	1,168,153	1,090,316	992,377
連結総資産額	9,665,127	10,078,463	12,273,908	12,210,967	11,037,611
連結ベースの1株当たり純資産額	11,232.14円	11,014.90円	15,413.67円	14,465.91円	13,307.69円
連結ベースの1株当たり当期純利益	419.57円	269.81円	223.03円	272.82円	362.81円
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり当期純利益	418.78円	269.41円	222.78円	272.55円	362.51円
連結自己資本比率（国内基準）	11.58%	11.43%	11.72%	12.11%	13.51%
連結自己資本利益率	3.56%	2.42%	1.68%	1.83%	2.62%
連結株価収益率	11.03倍	12.74倍	30.53倍	19.60倍	17.22倍
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,716	115,379	1,437,527	39,795	△1,414,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,499	40,173	82,176	66,740	△65,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,533	△7,555	△4,538	△7,424	△14,404
現金及び現金同等物の期末残高	898,633	1,046,629	2,561,796	2,660,909	1,167,312
従業員数	3,646人	3,562人	3,553人	3,521人	3,474人

### ●単体経営指標

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益	124,023	103,913	98,086	117,039	113,978
うち信託報酬	3	17	12	11	8
業務純益	19,598	25,496	26,763	28,921	34,631
経常利益	42,454	26,634	20,625	26,084	35,544
当期純利益	30,029	19,159	14,878	18,718	25,639
資本金	42,103	42,103	42,103	42,103	42,103
発行済株式総数	75,840千株	75,840千株	75,840千株	75,840千株	75,840千株
純資産額	837,088	820,328	1,149,793	1,069,959	970,448
総資産額	9,653,833	10,065,875	12,256,073	12,196,727	11,017,656
預金残高	7,092,102	7,123,494	7,996,106	8,319,783	8,375,966
貸出金残高	5,487,531	5,828,449	6,069,212	6,148,969	6,305,947
有価証券残高	2,921,059	2,870,856	3,232,904	3,042,173	2,944,262
1株当たり純資産額	11,078.10円	10,850.66円	15,202.91円	14,228.46円	13,049.69円
1株当たり配当額	100.00円	60.00円	60.00円	100.00円	140.00円
1株当たり当期純利益	397.69円	253.62円	196.81円	247.65円	341.83円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	396.94円	253.23円	196.59円	247.40円	341.55円
単体自己資本比率（国内基準）	11.18%	11.02%	11.24%	11.59%	12.97%
自己資本利益率	3.42%	2.31%	1.51%	1.68%	2.51%
株価収益率	11.64倍	13.56倍	34.60倍	21.60倍	18.28倍
配当性向	25.14%	23.65%	30.48%	40.37%	40.95%
従業員数	3,423人	3,378人	3,380人	3,345人	3,303人
信託財産額	517	3,178	4,170	4,533	4,174
信託勘定貸出金残高	-	-	-	-	-
信託勘定有価証券残高（信託勘定電子記録 移転有価証券表示権利等残高を除く。）	-	-	-	-	-
信託勘定暗号資産残高及び履行保証暗号資産	-	-	-	-	-
信託勘定電子記録移転有価証券表示権利等残高	-	-	-	-	-

(注) 1. 2018年度の1株当たり配当額100.00円のうち40.00円は特別配当であります。  
2. 2021年度の1株当たり配当額100.00円のうち5.00円は創立80周年記念配当であります。